

# 環境学習実施報告書

---

<小城市立 三里小学校 3.4年生 15名>

一般社団法人 佐賀県産業資源循環協会青年部

## 実施概要

日 時 : 令和2年9月7日(火) 8:00～12:30  
9:35～ 座学  
10:40～ 工場見学・体験学習  
11:30～ 約束の木

場 所 : 小城市立三里小学校(佐賀県小城市小城町栗原1256)

参 加 者 : 青年部 7名(7社)  
(株)平成開発 3名

工 場 見 学 : 株式会社 平成開発



～はじめに～

我々、産業資源循環協会青年部(以下、青年部とする。)は「CSR2プロジェクト」の一環として、毎年、不法投棄撤去のボランティア活動を行っているが、不法投棄そのものの撲滅を目指し、平成26年度から佐賀県内の小学校に出向き児童に対して、環境学習を実施している。

環境学習の内容は、【佐賀県の廃棄物の現状】、【不法投棄(ごみのポイ捨て含む)による環境への影響】、【リサイクル促進】、【使用車輛の危険性】等を現場からの声を含め学習する事により、不法投棄を撲滅することを狙いとしている。

小城市立三里小学校は、青年部所属の永ノ間氏のお子様が在学中であることから、永ノ間氏を通じて、環境学習の申し出を行い快くお受け頂いた。

又、学校近くに位置する平成開発様へお話をを行ったところ工場見学の提案があり、コロナ禍という事で少人数での対応を検討していた青年部にとって非常に有難いお言葉を頂いた。

青年部で実施してきた環境学習も今回で第9回となったが、協会所属企業を訪問しての工場見学・環境学習は初めての試みとなった。

## ～環境学習の内容～

### ①座学

座学学習は、パワーポイントを用いて授業を行う。前回福富小学校で講師を行った永ノ間氏と補助を行った釜崎氏が今回も対応を行い、息の合った進行で児童達も生き生きとした目を授業に向けていた。尚、永ノ間氏のお子様には、講師であることを内緒にしていた為、講師登場でビックリするとともに照れくさそうであったが、うれしそうなお表情を見せていた。



～授業開始～



～積極的に発表～

### ②工場見学・体験学習

座学終了後、学校から教諭・青年部同行の元、工場見学先である平成開発様へ徒歩で移動。

#### ◆2tパッカー車

パッカー車の名前の由来や使用用途、資源物回収時に禁忌品となるライターやスプレー缶等説明。またパッカー車へ段ボールの投入体験を行い、車両がどう稼働するか等も踏まえ、身近に見かける作業車の危険性についても同時に学習してもらった。



～車両・危険箇所の説明～



～投入体験～

#### ◆圧縮機

投入体験したパッカー車をコンベアーに移動、通常見る事ができないホッパー部の開閉、排出板の押し出し風景を見学。又、投入された段ボールがコンベアーを上り圧縮される様子を説明。



～圧縮機見学～

～ホッパー開閉～



#### ◆資源物

段ボール・新聞・雑誌・缶・ペットボトルのプレス品を使い、生活の中で排出されるリサイクル出来る物やリサイクル後の製品について説明を実施。またプレス品の重量当てクイズやペレット、ペットボトル成型前のサンプルに触れて体験。

～触れて体験～



～資源物説明～

#### ③約束の木

今回の環境学習を受けて、児童たちが今後約束出来ることを考え葉っぱに記入し、木に張り付ける事で1本の約束の木を作成。また全児童に他児童の前で約束出来る事を発表してもらった。当初、人数が少ない為、寂しい約束の木になるかと思われたが、児童たちが進んで3枚4枚と約束出来る事を記入してくれ他校に負けない大きな1本の約束の木が完成した。



令和2年度 環境学習参加者一覧

NO.	会社名	氏名	
1	佐賀衛研(株)	清瀬 康貴	
2	(株)西村商会	青木 大作	
3	(財)佐賀県環境科学検査協会	永ノ間 俊輔	座学講師
4	(株)三協環境開発	釜崎 智徳	
5	(有)谷田建設	谷田 将拓	
6	(有)寺崎資材工業	寺崎 森	
7	(株)イワフチ	石橋 宏晋	
8	(株)平成開発	久保 成勇	工場見学講師
9		江崎 正隆	工場見学講師
10		副島 真桜	工場見学講師
	8社	10名	